

宿泊

- 海潮温泉 (E-2)
海潮荘 雲南市大東町中湯石451 ☎ 0854-43-5000
- 出雲湯村温泉 (D-3)
湯乃上館 雲南市木次町湯村1336 ☎ 0854-48-0513
国民宿舎清嵐荘 雲南市吉田町川手161-4 ☎ 0854-75-0031
※令和元年11月19日(火)よりオープン
- ホテル
ホテル上代 雲南市三刀屋町三刀屋20 ☎ 0854-45-5900
- 旅館
村上旅館 雲南市大東町大東1850 ☎ 0854-43-2009
竹村旅館 雲南市加茂町加茂中1231 ☎ 0854-49-7010
かね平旅館 雲南市木次町木次468-1 ☎ 0854-42-0036
天野館 雲南市木次町木次51 ☎ 0854-42-0006
松江館 雲南市木次町木次53 ☎ 0854-42-0051
梅木旅館 雲南市木次町木次341 ☎ 0854-42-0037
ながら旅館 雲南市三刀屋町三刀屋307 ☎ 0854-45-2603
田村旅館 雲南市吉田町吉田2577 ☎ 0854-74-0081
若槻屋 雲南市吉田町吉田2566 ☎ 0854-74-9055
- コテージ・バンガロー
かみくの桃源郷 雲南市大東町上久野383-2 ☎ 0854-47-0217
木次健康の森 雲南市木次町西日登2542-2 ☎ 0854-42-2623
明石緑が丘公園 雲南市三刀屋町坂本870 ☎ 0854-45-5678
峯寺遊山荘 雲南市三刀屋町給下1586-1 ☎ 0854-45-5800
吉田グリーンシャワーの森 雲南市吉田町吉田4152-1 ☎ 0854-74-0210

雲南市観光ガイド

ヤマタノオロチ伝承地をはじめ歴史、文化に恵まれた数多くの観光地を、“おもてなしの心”でご案内いたしますので、ぜひご利用ください。

申込先 (一社)雲南市観光協会 TEL 0854-42-9770
※ 利用日の1週間前までに申し込みください。
※ 有料 ガイド1名につき2時間まで2,000円 (以降1時間毎に1,000円加算)

雲南市へのアクセス

- 出雲縁結び空港から
車(タクシー)で約20分
- 米子鬼太郎空港から
車(タクシー)で約60分
- JR松江駅から
JR木次駅まで約1時間
- JR出雲市駅から
JR木次駅まで約1時間
- JR宍道駅から
JR木次駅まで約35分
- JR木次駅から
徒歩で約10分
- 中国自動車道から
三次東JCT-ICから松江自動車道で45分
東城ICから国道314号で約2時間
- 松江自動車道から
三刀屋木次ICから約5分
松江玉造ICから35分
出雲ICから30分

お問い合わせ・資料請求

雲南市観光振興課 (一社)雲南市観光協会
〒699-1392 島根県雲南市木次町里方521番地1 TEL:0854-40-1054 FAX:0854-40-1059
URL:https://www.unnan-kankou.jp/
〒699-1331 島根県雲南市木次町里方26番地1 TEL:0854-42-9770 FAX:0854-42-9771
2019年6月

島根県雲南市の観光サイト「うんなん旅ネット」



乳製品

木次乳業の乳製品は斐伊川流域の豊かな自然の中で生育した健康な牛から搾った牛乳を、できるだけ自然に近い状態で提供しています。



焼きさば

昔、海から離れたこの地方では、さばを串焼きにして売っていました。その名残から雲南地方の郷土料理となっています。

D-2 奥出雲ワイン

小さなワイナリー「奥出雲葡萄園」で一本一本丁寧につくられたワインです。

スイーツ

地元産のたまご、牛乳、米粉などを原料に「プリン」「スコーン(チーズスフレ)」などを提供しています。

卵かけご飯専用醤油 おたまはん

国内産丸大豆醤油を使用し、化学調味料を使わず、味醂とかつおだして風味を出した逸品です。

オムライス

養鶏が盛んな雲南市では、市内の多くの飲食店で個性豊かな「うんなんオムライス」が提供されています。

スパイス

唐辛子、山椒などのスパイス生産が盛んです。特に唐辛子は、大型唐辛子を神話にちなんで「オロチの瓜」と命名し、様々な加工品を作っています。



Unnan Travel Guide

島根県

雲南市

観光案内&ガイドマップ



ほくのふるさと雲南市です。ぜひ遊びに来てください。



雲南吉田くん

雲南 観光

検索

運なんです。雲南です。



◆海潮温泉 E-2

海潮温泉は、斐伊川の支流、赤川の谷間に古くから湧く温泉で、約1,300年前に編纂された『出雲國風土記』にも記載が残ります。

泉質はナトリウム-硫酸塩・塩化物泉で、神経痛、慢性皮膚病などに効能があるとされています。

DATA
泉質/ナトリウム-硫酸塩・塩化物泉
宿泊/海潮荘 TEL 0854-43-5000



◆出雲湯村温泉 D-3

出雲湯村温泉は斐伊川の中流、奥出雲の山間に湧いた温泉で、出雲國風土記に「湯湯」と記載され、古くから効能の高い温泉として知られています。

DATA
泉質/アルカリ単純温泉
宿泊/日輝り入浴/湯乃上邸 TEL 0854-48-0513
国民宿舎湯村荘 TEL 0854-75-0031

ゆったり温泉



◆きすきのさくら D-2

斐伊川堤防桜並木

斐伊川堤防桜並木は、「日本さくら名所100選」に認定された、中国地方唯一の桜の名所です。毎年3月下旬から4月中旬には、約2km、800本の桜のトンネルが楽しめます。

雲南市では、桜の手入れ専門職「桜守(さくらもり)」を配置して、樹齢80年以上になる老木の保護や新たな苗の育成に取り組み、桜のまちづくりを進めています。



◆御衣黄 C-2

緑の桜、御衣黄(ぎょいこう)

国道54号線に沿って流れる三刀屋川の河畔も桜の名所。約3kmにわたって約900本の桜が咲き誇ります。

ツメイヨシノの間花から運れること約2週間、4月中旬から下旬にかけて黄緑色の桜「御衣黄」が満開を迎えます。さわやかで気品ある色合いが貴族の衣装を思わせることからその名がついたとされ、全国でも希少な桜として有名です。



◆龍頭八重滝 県立自然公園 B-4

龍頭が滝

落差40mの雄滝と30mの雌滝からなる龍頭が滝は、中国地方唯一の名滝と言われ、八重滝とともに「日本の滝百選」に選ばれています。雄滝の裏側は「裏見の滝」と呼ばれ、百景ほどの見事な岩窟があり、滝観音が祭られています。



◆赤川ほたる E-1.2

斐伊川の支流の赤川流域は、ゲンジボタルの名所です。毎年5月下旬から6月中旬にはホタルの乱舞が楽しめます。



◆トロッコ列車

木次線トロッコ列車 奥出雲おろち号

JR木次線の沿線の大自然の中を駆け抜けるトロッコ列車「奥出雲おろち号」は、窓の部分が大きく取り払われて開放感がいっぱい。新緑から紅葉の季節まで、中国山地の雄大な景色を満喫できます。

DATA
運行期間/4月~11月の金土日・祝祭日
(夏休み紅葉シーズンは毎日) 1日1往復



◆木次健康の森 D-2

自然と人がSmile Communication

ハーブに囲まれ、くつろぎのひと時を... オートキャンプ場、テニスコート、ハンガロー牧場などあふれる自然の中でのんびり、ゆったり、さわやかに!

DATA
所在地/木次西日登2542-2
お問合せ/TEL 0854-42-2623



◆かみくの桃源郷 清流の館 E-3

古い民家を移築したこの施設では、休憩に利用できるほか、ヤマメや山菜など郷土豊かな味覚を味わうことができるメニューで食事ができます。

DATA
所在地/大東町上久野1371-3
お問合せ/TEL 0854-47-0078



◆吉田グリーンシャワーの森 C-4

標高150mの閑静な高台に広がるリゾート施設。丸太小屋風のコテージバーベキューハウス、テントサイトなどがあり、器具やスポーツ用具などのレンタルもできます。

DATA
所在地/吉田町吉田4152-1
お問合せ/TEL 0854-74-0210



◆明石緑が丘公園 C-3

「遊ぶ・学ぶ・集う」をテーマに、パークゴルフ場、グラウンドゴルフ場、野球場、天然芝サッカー場、全天候型ゲートボール場などを備えた家族で楽しめる総合レクリエーション広場。

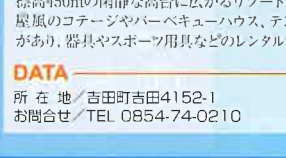
DATA
所在地/三刀屋町坂本870
お問合せ/TEL 0854-45-5678



◆遊山荘 C-2

弥山の中腹にある「峯寺遊山荘」では、緑に囲まれた憩いの場として、豊かな自然を満喫できます。

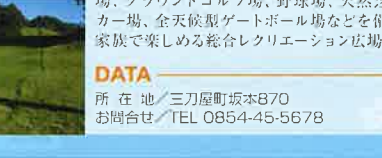
DATA
所在地/三刀屋町坂下1586-1
お問合せ/TEL 0854-45-5800



◆吉田グリーンシャワーの森 C-4

標高150mの閑静な高台に広がるリゾート施設。丸太小屋風のコテージバーベキューハウス、テントサイトなどがあり、器具やスポーツ用具などのレンタルもできます。

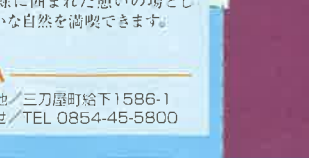
DATA
所在地/吉田町吉田4152-1
お問合せ/TEL 0854-74-0210



◆遊山荘 C-2

弥山の中腹にある「峯寺遊山荘」では、緑に囲まれた憩いの場として、豊かな自然を満喫できます。

DATA
所在地/三刀屋町坂下1586-1
お問合せ/TEL 0854-45-5800



◆遊山荘 C-2

弥山の中腹にある「峯寺遊山荘」では、緑に囲まれた憩いの場として、豊かな自然を満喫できます。

DATA
所在地/三刀屋町坂下1586-1
お問合せ/TEL 0854-45-5800



鉄の歴史



日本遺産「出雲國たたら風土記」
～鉄づくり千年が生んだ物語～

中国地方一帯では古くから「たたら製鉄」が盛んに行われ、江戸時代の最盛期には全国の鉄生産量の7～8割を出雲地方で産出しました。その中心的な役割を担ったのが雲南市吉田町を拠点にしたたたら経営を行った田部家です。

田部家が経営した菅谷たたら山内(山内=たたら製鉄を営む場所の総称)の中心にある菅谷高陵は、1751年から1921年までの170年間にわたって操業が続けられ、最盛期には年間200トンの鉄を生産しました。高陵様式の現存するものとしては全国唯一で、昭和42年に国の重要民俗文化財に指定されています。

◆菅谷たたら C-4

DATA
入館料金/有料(200円～)
開館時間/9:00~17:00
休館日/毎週日曜日
所在地/吉田町吉田4210-2
お問合せ/TEL 0854-74-0350



◆加茂岩倉遺跡 C-1

遺跡の解説パネルや出土銅鐸のレプリカの展示室、出土状況が復元された遺跡を遠望できる休憩スペースがあります。

DATA
入館料金/無料
開館時間/9:00~17:00
休館日/毎週火曜日(祝祭日を除く)
所在地/加茂町岩倉837-24
お問合せ/TEL 0854-49-7885



ヤマタノオロチ伝説

◆須我神社 E-1

須我神社は、スサノノミコとクシナゲヒメが造ったとされる「日本初の宮」。この宮を包むように美しい雲が立ち上がるのを見て、命が八雲立つ 出雲八重垣妻ごみに八重垣つくる その八重垣とと詠んだことから、須賀の地は和歌発祥の地と言われています。所在地/大東町須賀

◆八本杉 D-2

スサノノミコがヤマタノオロチを退治した後、その八つの頭を埋め、その上に八本の杉を植えたといわれています。所在地/木次町里方

◆印瀬の壺神 D-3

印瀬の八口神社(やくちじんじや)の境内にある壺は、スサノノミコがオロチ退治の時に「八重折の酒(やしおりのさけ)」を入れた八つの壺のうちのひとつと伝えられ、「壺神さん」として祀られています。所在地/木次町西日登

◆天が淵 D-3

斐伊川上流、木次町と吉田町境にある天が淵はヤマタノオロチが住んでいたところといわれています。所在地/木次町湯村

神楽も盛んです!!

雲南市には、ヤマタノオロチをはじめとする出雲神話を演目として「神楽」が古くから伝承されており、現在でも数多くの神楽団体によって守り伝えられています。古代鉄歌謡館では毎月定期上演を行っており、神話の里に引き継がれる伝統の舞を鑑賞いただけます。

DATA
上演時間/毎月第2土曜日 2演目を上演
19:00~または20:00~
※上演日が変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。
料 金/大人500円、小中学生200円、小学生未満無料
お問合せ/古代鉄歌謡館
TEL 0854-43-6568